

令和 7 年度（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月）工事検査講評

工事検査員 後藤 哲治（R7.4～R7.7）
永富 彰（R7.8～R8.3）

本年度も、繰越工事の中間・出来高・竣工検査、現年度工事の中間・竣工検査及び翌年度繰越工事の中間検査を下表（表-1）のとおり実施しましたので報告します。

令和6年度繰越工事及び令和7年度現年工事並びに繰越中間検査実績比較表

表-1

上段：令和6年度 下段：令和7年度		土木課	都市計画課	下水道課	水道施設課	建築管理課	計	
前年度繰越中間 或いは出来高		0	1	0	1	—	2	
		1	2	0	0	—	3	
前年度繰越竣工		9	3	5	9	—	26	
		11	1	5	10	—	27	
現年度中間		2	0	1	0	—	3	
		0	1	0	0	—	1	
現年度竣工		12	6	2	15	—	35	
		11	4	2	9	—	26	
翌年度繰越中間		0	1	0	0	—	1	
		0	0	1	0	—	1	
翌年度繰越件数		4	1	4	10	—	19	
		4	2	5	8	—	19	
検査総数	竣工検査数	23	11	8	25	—	67	61
		23	8	8	19	—	58	53

本年度も繰越工事が27件、翌年度繰越工事も19件あります。これは繰越申請が容易になった事により職員の繰越に対する意識が薄れた事が一つの要因ではないかと思われます。

債務負担行為を行う2ヶ年工事や年度末に県からの補正予算に対応するためならわかりますが、当初予算では現年度で完了することを前提としているはずですが、しっかりと計画をたて、繰越することなく年度内に完了するように発注を行ってください。

【指摘項目内容及び指摘件数】

1. CORINS (請負金額500万円以上 対象 53 件中 47 件) 指摘件数 0 件

①該当なし	6 件	②問題なし	47 件
-------	-----	-------	------

※ 担当職員への聞き取りへの移行後、指摘件数が0件となっております。
 今後も提出書類としては添付する必要はありませんが、メール等で確認は必要です。
 また、変更で請負金額が500万円を超えた時点で受注登録が必要ですので今後も引き続き注意してください。

2. 建退共等掛金収納書 (対象 53 件中 53 件) 指摘件数 2 件

①問題なし(新様式第033号)	44 件	②問題なし(旧様式-4)	6 件
③問題なし(中退共)	1 件	④購入日遅延	1 件
⑤記載漏れあり	1 件		

※ 様式-4から様式第033号に様式変更されましたが、まだ旧様式での提出があります。
 担当職員もしっかりと意識し、この指摘が無くなるようにしてください。

3. 施工体系図・施工体制台帳及び施工体制台帳添付書類

(下請使用工事 対象 53 件中 45 件) 全体指摘件数 121 件

3-1 施工体系図 指摘件数 20 件

①該当なし	8 件	②問題なし	26 件
③監督員名「妥当性欠如」	1 件	④系統不明瞭(破線→実線)	2 件
⑤一部下請「未記載」	5 件	⑥必須欄一部「未記入」	2 件
⑦必須欄一部「誤記」	2 件	⑧元方安全衛生管理者「未選任」	1 件
⑨一部会社名「妥当性欠如」	1 件	⑩元請・下請工期「誤記」	2 件
⑪誓約書日付「妥当性欠如」	2 件	⑫不要項目記載	2 件

施工体系図 (福岡県発注工事用様式)

発注者名 国方市長	工期 自 令和 年 月 日	至 令和 年 月 日
工事名称		
元請名・事業種ID	(1次下請)	
監督員名 ③	会社名・事業種ID ⑨	所在地
監理技術者名	所在地	代表者名
主任技術者名	許可番号	許可番号
監理技術者補佐名	一般/特定の別 一般・特定	一般/特定の別 一般・特定
専門技術者名	請負代主	請負代主
担当工事内容	安全衛生責任者	安全衛生責任者
専門技術者名	主任技術者	主任技術者
担当工事内容	指定専門工事の担当 有・無	指定専門工事の担当 有・無
代表者名 ⑧	元方安全衛生管理者	元方安全衛生管理者
副代表者名	元方安全衛生管理者	元方安全衛生管理者
	工期 令和 年 月 日~令和 年 月 日	工期 令和 年 月 日~令和 年 月 日
	修正発注条件に添付する「誓約書」の日付 ⑪ 令和 年 月 日	修正発注条件に添付する「誓約書」の日付 令和 年 月 日
	会社名・事業種ID	会社名・事業種ID
	所在地	所在地

※ ⑪誓約書日付について、誓約書の日付は下請契約日ではありません。これは、労働関係法令の遵守及び最低賃金額以上の賃金支払を強く求めることを「特記事項」として工事請負契約書（請書）に追加し特記事項の遵守をより確実にするため、「誓約書」の提出を契約締結の条件としたものです。直方市では、また対応していませんので「空欄」でお願いします。
また、下請がある場合は、必ず記載してください。

3-2-(1) 施工体制台帳、再下請負通知書 指摘件数 31 件

①問題なし	22 件	②発注者名「妥当性欠如」	1 件
③事業所名「不十分 or 妥当性欠如」	4 件	④工事内容「未記入 or 一部未記入」	3 件
⑤工事内容「妥当性欠如」 (下請含む)	1 件	⑥工事内容「数量未記入 or 相違」 (下請含む)	1 件
⑦下請契約欄「未記入」	4 件	⑧下請契約欄「妥当性欠如」	6 件
⑨権限及び意見申出方法欄 「妥当性欠如」	2 件	⑩資格内容「未記入」	3 件
⑪建設業の許可「未記入」	1 件	⑫変更表示「未明示」	3 件
⑬不要項目記載	2 件		

3-2-(2) 発注者と受注者の請負契約書 指摘件数 10 件

①問題なし	40 件	②未添付	2 件
③一部資料不足（変更契約等）	6 件	④変更分未添付	2 件

3-2-(3) 注文請書 下請工事内容の明確性（約款は確認のみ、内訳書） 指摘件数 17 件

①問題なし	28 件	②内訳書「明確性確認不可」 (未添)	6 件
③内訳書「妥当性欠如」	10 件	④工期変更分「未添付」	1 件

3-2-(4) 元請技術者の資格及び雇用を証明するもの 指摘件数 2 件

①問題なし	48 件	②資格証明不足	1 件
③雇用証明不足	1 件		件

3-2-(5) 作業員名簿 指摘件数 41 件

①問題なし	15 件	②必須欄「未記入」（一部も含む）	10 件
③事業所名「妥当性欠如 or 不十分」	3 件	④元請「未添付」	4 件
⑤下請「未添付」	4 件	⑥※欄「未記入」	15 件
⑦※欄体制台帳と不整合	1 件	⑧※欄「一部追記」	3 件
⑨○次下請「誤記」	1 件		

4. 施工計画書 令和5年度より対象は全ての工事 対象 53 件

請負金額5,000万円未満は「簡易版」、以上は「通常版」	簡易版施工計画書 対象 42 件中	指摘件数 61 件
	通常版施工計画書 対象 11 件中	指摘件数 22 件

施工計画書「簡易版」指摘項目

指摘件数 61 件

①出来形 or 品質「統一様式不使用」	2 件	②出来形「項目不足」 or 「項目妥当性欠	13 件
③出来形工種 or 施工規模「不適切」	2 件	④出来形細別 or 測定基準一部「妥当性欠如」	1 件
⑤品質「項目不足」 or 「一部項目間違い」	12 件	⑥品質一部記載方法「妥当性欠如」	1 件
⑦安全・訓練「予定回数不足」	1 件	⑧安全・訓練「妥当性欠如」	11 件
⑨段階確認「項目不足」	9 件	⑩段階確認「具体性欠如」	2 件
⑪建設副産物一部「未記載」	4 件	⑫建設副産物一部「許可証未添付」	2 件
⑬再生資源「タイトル不明瞭」	1 件		

施工計画書「通常版」指摘項目

指摘件数 22 件

①施工計画書「提出遅延 or 未作成」	1 件	②工事概要「内訳書妥当性欠如」	1 件
③計画工程「提出書類と準備工未区分」	1 件	④指定機械「未記載 or 妥当性欠如」	1 件
⑤施工方法「全体フロー未記載 or 妥当性欠如」	1 件	⑥施工管理「品質記載内容妥当性欠如」	4 件
⑦施工管理「出来形記載内容妥当性欠如」	5 件	⑧施工管理「段階確認妥当性欠如」	1 件
⑨施工管理「品質証明未記載」	4 件	⑩安全管理「一部項目未記載 or 妥当性欠	1 件
⑪現場作業環境「未記載 or 図面併用未整備」	1 件	⑫再生資源「未記載 or 妥当性欠如」	1 件

※ ⑨施工管理「品質証明」とは、「品質証明員制度」のことです。品質証明員とは、受注者が品質証明に従事する者（以下「品質証明員」という）を定め、品質証明員が工事の品質を確認し証明するものです。要は、受注者の中から工事に携わっていない資格要件を満たしたものを選任し、社内検査を品質証明として位置づけるものですが、直方市では、品質証明員制度を導入しておらず、受注者による社内規格を記載することとしている。

5. 安全・訓練活動報告書

(対象 53 件中 53 件) 指摘件数 25 件

①問題なし	32 件	②打合せ簿「未添付」	1 件
③実施回数「不足」	5 件	④各作業災害防止項目「工程表と不整合」	1 件
⑤各作業災害防止項目「具体性欠如」	2 件	⑥各作業災害防止項目「妥当性欠如」	5 件
⑦各作業災害防止項目「一部未記載」	1 件	⑧自己点検チェックリスト「一部未添付」	3 件
⑨自己点検チェック項目チェック欄「不適切」	2 件	⑩直方市安全確認チェックリスト「未活用」	5 件

6. 地下埋設物確認書

(地下埋設確認工事 対象 53 件中 42 件) 指摘件数 2 件

①該当なし	11 件	②問題なし	40 件
③確認不足	2 件		

7. 交通安全管理計画書

(道路使用許可工事対象 53 件中 43 件) 指摘件数 18 件

①該当なし	10 件	②問題なし	28 件
③交通安全管理計画書「未添付 or 不備」	5 件	④交通対策平面図「未添付 or 不備」	2 件
⑤緊急連絡体制表「未添付 or 不備」	9 件	⑥変更申請内容「資料添付不足」	2 件

※ 交通安全管理計画書は、施工管理の手引きⅢ-50の作成例を参考にしてください。

【交通安全管理計画書添付資料】

1. 交通安全管理計画書の通行車両及び歩行者等に対する安全対策では、工事箇所が**通学路に指定されている場合は**、学校名（〇〇小学校や〇〇中学校）を明記し、児童生徒の誘導方法などを記述する。
2. 安全対策平面図（道路使用許可申請時に添付している図面を抜粋して添付）
3. 緊急時連絡体制表
4. 道路使用許可証の写し（道路使用許可証と道路使用許可条件を添付）

8. 交通整理員 (道路使用許可工事対象 53 件中 42 件) 指摘件数 1 件

①該当なし	11 件	②問題なし	41 件
③警備会社証明なし	1 件		

9. 着工前測量 (対象：すべての工事 53 件中 51 件) 指摘件数 15 件

①該当なし	2 件	②問題なし	39 件
③測量成果簿「未添付or不十分」	2 件	④見取図「未作成or不十分」	3 件
⑤KBM写真「未添付」	4 件	⑥着工前平面図「不備」	3 件
⑦必要現況測量図「未添付」	3 件		

10. 工程表 (対象：すべての工事 53 件中 29 件) 指摘件数 43 件

①問題なし	24 件	②不稼働日「不明示 or 不十分」	7 件
③提出書類と準備工「未区分」	5 件	④提出書類・準備工「妥当性欠如」	10 件
⑤工程詳細内容「不明瞭」	5 件	⑥当初実施工程「未記載」	2 件
⑦一部工種「未記載」 <small>変更追記含む</small>	1 件	⑧工程内容「不整合」	4 件
⑨特記事項欄必須事項「未記載」	5 件	⑩特記事項欄必須事項 「誤記 or 具体性欠如」	1 件
⑪一部施工場所「不明」	2 件	⑫一部実施数量「未記載」	1 件

※ 工程表は先ず、日曜などの不稼働日を着色などで明示してください。
工程表項目において提出書類作成と準備工は必ず区分して下さい。
区分する目的は、実際に現場に入る日を把握するためです。

11. 段階確認願・確認書 (対象：すべての工事 53 件中 51 件) 指摘件数 11 件

①該当なし	2 件	②問題なし	40 件
③項目不足	2 件	④確認日一部「不適切」	1 件
⑤確認者「未記入」	1 件	⑥確認書「妥当性欠如」	1 件
⑦確認資料「未添付」	6 件		

12. 再資源化等報告書 (請負金額500万円以上対象 53 件中 45 件) 指摘件数 12 件

①該当なし	8 件	②問題なし	34 件
③タイトル「不明瞭」	1 件	④担当者サインなし	2 件
⑤整合性欠如 or 未記入	9 件		

13. 建設廃棄物処理集計表 (対象 53 件中 49 件) 指摘件数 23 件

①該当なし	4 件	②問題なし	28 件
③集計表 or 一部集計表「未添付」	2 件	④車番 or 一部車番「未記載」	2 件
⑤車種 or 一部車種「未記載」	1 件	⑥一部最終処分日「未記載」	1 件
⑦設計との対比「不明瞭」	4 件	⑧資料一部「未添付」	13 件

※ 産廃の適正処分確認方法は、写真での車両番号と集計表に記載している車両番号が一致していることで確認できます。産廃を現場外に仮置きする場合、福岡県の許可と仮囲いや看板が必要です。また、仮置き場所の写真、仮置き場所からの積込状況（必ず車番が判読できること。）と仮置き場所を原形復旧した写真を撮るように指導して下さい。

14. 建設発生土処地報告書 (対象 53 件中 47 件) 指摘件数 9 件

①該当なし	6 件	②問題なし	38 件
③設計との対比「不明瞭」	3 件	④資料一部「未添付」	6 件

15. 材料承認願 (対象 53 件中 51 件) 指摘件数 17 件

①該当なし	2 件	②問題なし	35 件
③使用材料一部「未記載」	9 件	④資料一部「未添付」	2 件
⑤添付資料一部「マーキングなし」	2 件	⑥インデックス整理	4 件

16. 県産資材不使用理由書 (対象 53 件中 40 件) 指摘件数 12 件

①該当なし	13 件	②問題なし	28 件
③未添付	3 件	④不使用理由「妥当性欠如」	8 件
⑤材料名「不適切」	1 件		

※ 材料承認願右上の全て県産資材使用欄に「いいえ」となっている場合は、一部県外製品を使用しているということですので、県外製品においては、県産資材不使用理由書を添付する必要があります。理由は「県内に本社や工場がないため」でよいと思います。

17. 材料確認書 (対象：剥離剤、塗料、樹木 53 件中 1 件) 指摘件数 0 件

①該当なし	52 件	②問題なし	1 件
※対象材料は、樹木及び塗料のみ			

18. 材料出荷証明書 (対象 53 件中 51 件) 指摘件数 9 件

①該当なし	2 件	②問題なし	42 件
③使用材料不足	1 件	④一部資料「未添付」	2 件
⑤承認願と一部「相違」	2 件	⑥一部資料「未記入」	4 件

19. 品質管理報告書（総括表）

（対象 53 件中 53 件） 指摘件数 19 件

①問題なし	32 件	②項目不足	7 件
③不要項目「記載」 or 項目「妥当性欠如」	1 件	④記載方法「改善余地あり」	1 件
⑤一部施工規模「妥当性欠如」	2 件	⑥規格値一部「相違or妥当性欠如」	2 件
⑦一部試験資料「未添付」	5 件	⑧一部チェックシート「未添付」	1 件

20. 出来形管理報告書（総括表）

（対象 53 件中 53 件） 指摘件数 37 件

①問題なし	24 件	②項目不足 or 不十分	15 件
③項目不適切 or 不十分	2 件	④不要項目記載	1 件
⑤測定基準一部「妥当性欠如」 or 規格値一部「根拠不足」	2 件	⑥管理位置「不適切」	2 件
⑦管理図一部「妥当性欠如」	2 件	⑧管理図数値と写真「不整合」	1 件
⑨一部展開図「未添付」	2 件	⑩管理数値「違和感」	2 件
⑪コア採取位置・種別「未明示」	3 件	⑫区画線入れ「未明示」	2 件
⑬管理図一部「未記入」	2 件	⑭一部規格「誤記」	1 件

※⑪舗装展開図コア採取位置・種別における「種別」の書き方を具体的に略図で説明します。



21. 工事変更指示書・打合せ簿

（対象 53 件中 53 件） 指摘件数 15 件

①問題なし	24 件	②一部打合せ簿「未処理」（変更含む）	10 件
③一部打合せ内容「不明瞭」	1 件	④一部処理回答「無回答」	1 件
⑤一部処理回答「具体性欠如」	1 件	⑥一部処理回答「不適切」	1 件
⑦会社名・肩書・所属・氏名 一部「未明記」	1 件		

具体例

変更しているのに打合せ処理していない。
管種を変更しているのに、理由の記載がない。
変更指示が遅すぎ、必要な公的試験が実施できない。
土被り変更指示なのに具体的数値の記載がない。
その他変更理由の具体性欠如や必要書類未添付など。

発注者は、担当監督員の正式所属名、
氏名を書くこと。

記入例 ○○課○○係 ○○ ○○

受注者は、会社名、肩書（現場代理人等）、
氏名を書くこと。

記入例 ○○建設(株) 現場代理人 ○○ ○○

22. 工事看板事前表示

(対象 53 件中 53 件) 指摘件数 29 件

①問題なし	30 件	②看板設置箇所配置図「未作成」	17 件
③看板設置箇所配置図「不十分」	5 件	④看板一部未設置	1 件
⑤工事情報・説明看板「写真不足」	3 件	⑥工事中看板「写真不足」	1 件
⑦工期変更看板「写真不足」	1 件	⑧一部判読不可(変更含む)	1 件

23. 建設許可票・労災保険・建退共の標識

(対象 53 件中 53 件) 指摘件数 38 件

①問題なし	22 件	②全て「判読不可」	2 件
③施工体系図「内容不備」	3 件	④施工体系図「判読不可」	7 件
⑤変更施工体系図「未掲示」	6 件	⑥建退共標識「未掲示」	2 件
⑦緊急時連絡表「判読不可」	2 件	⑧再生資源利用計画「未掲示」	3 件
⑨再生資源利用計画表「確認不可」	5 件	⑩労災保険記載内容「妥当性欠如」	6 件
⑪変更建設業許可票「未掲示」	2 件		

労災保険関係成立票	
保険関係成立年月日	※1 年 月 日
労働保険番号	
事業の期間	自 至 年 月 日
事業主の住所氏名	
注文者の氏名	
事業主代理人の氏名	※2

様式1 再生資源利用計画書(実施書) 一建設資材搬入工事用一

1. 工事概要		⑧ ⑨		表面	
発注者名称	〒 市 区 町 丁目 番 号	TEL	FAX	建設業種	建設業種
工事名称	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種
工事開始日	年 月 日	工事完了日	年 月 日	工事完了日	年 月 日
工事種別	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種
2. 建設資材利用計画					
建設資材	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種
建設業種	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種	建設業種

【※1 労災関係成立年月日】

建設業の場合、その工事を開始した日に保険関係が成立することになっています。しかし、一括有期事業の場合は、複数の工事をまとめて年度ごとに保険料の申告・納付をおこなうので一括有期事業に該当する工事の場合は、一番最初に該当工事を着手した日を記入しても間違いではありません。

【※2 事業主代理人の氏名】

その工事について、代理人選任・解任届を提出している場合に、その代理人の氏名を記入します(現場代理人とは異なります)。代理人を選任していない場合は、空欄になります。

※ 今年度も「再生資源利用計画」の未掲示、「労災保険関係成立票記載内容」の妥当性欠如が見受けられます。

〔写真撮影のポイント〕

1. 掲示板全体の全景写真を撮る。
 - ・ 掲示板全体の全景写真を撮る場合は、掲示場所が分かるように若干の風景が入るように撮るのがポイントです。
2. 判読できる写真を撮る。
 - ・ 再生資源利用計画においては、やむを得ないと思いますが施工体系図は、掲示板全景写真で掲示していることは確認できますので、「記載部分だけを撮る」のがポイントです。判読できる写真を撮らせる目的は、看板記載内容が適正なのかを判断するためです。

24. 工事写真

※ 工事写真の場合、昨年度と同じで色々なケースがあり、写真整理のポイントを記述します。内容も昨年度指摘事項と同じ項目もありますが、再度確認して改善するようにしてください。宜しくお願いします。

1. 着工前・竣工写真の冒頭にどの場所からどの向きに撮ったのか、また、測点等を記入した平面図も添付して下さい。
2. 工事看板や掲示看板写真は、〔22. 工事看板事前表示〕と〔23. 建設許可票・労災保険・建退共の標識〕で説明したとおりです。
3. 2次製品や材料の吊り込み状況写真は、吊り込み機械全体が写った写真を撮って下さい。これは、1点吊りしていないか、適正機械（クレーン機能付き）を使用しているかを確認するためです。ラフテレーンクレーンなどのクレーン類を使用する場合、最大吊上げ荷重と足元(アウトリガーや重機周辺)の安全対策写真も必ず撮るようにして下さい。

4. 生コン打設写真の注意点

- 1) 生コン車で投入している状況写真が必ず必要です。
(適切投入高H=1.5m以下確認のため)
- 2) 生コン打設と養生写真は1セットと思って下さい。
(ほとんど養生の写真がありません。)
- 3) 生コンのバックホウ打設とは、クレーン機能付きバックホウでホッパーを吊って、ホッパー打設するということです、注意しましょう
- 4) バックホウバケット打設は、本来、「用途外使用」になります。やむを得ずバケット打設する場合は、バケット内に不純物が無いか、事故防止のためにロックレバーをロックをしていることが確認できる写真が必要です。
5. 必ず工種毎の完了全景写真を撮るように指示して下さい。工種毎の完了全景写真があるなしでは、工事写真帳の締まり具合が違ってきます。

※ 具体的に言うと、舗装版切断完了全景、床掘完了全景、碎石基礎完了全景、排水構造物（布設）完了全景、埋戻し完了全景、路盤完了全景、表層完了全景、区画線完了全景などがあります。特に側溝や管の場合の布設（据付）完了とは、埋め戻す前に撮ることが重要です。